

みすゞとのふれあい

仙崎八景めぐり大会参加者募集

郷土の詩人、金子みすゞの詩に出てくる仙崎八景や生家跡など、仙崎各地を訪れてみませんか。

→ 弁天島 → 祇園社
全行程 9 km (徒歩)

・ 募集対象 人員 200 人
(小学生は父兄同伴のみ)

・ 参加料 一般 500 円、中高生 300 円、小学生 200 円

・ 申込み方法

そして、みすゞを育てた郷土の歴史を知り、ふるさとを見つめ直す良い機会になるのではないのでしょうか。

・ 日時 3月13日(日) 9時出発

(雨天の場合 3月21日(祝))

・ コース (水高出発、解散)

小松原 → 花津浦を眺む →

↓ 金子文英堂・馬つなぎ場・

角の乾物屋 → 極楽寺 → 松

安の家 → みすゞの墓 → 波

の橋立 → 大泊港 → 王子山

※ 参加料は当日受付で。

往復はがきに、住所・氏名職業を記入して、正明市 4 区長門市商工観光課内 仙崎八景めぐり大会係宛申込みください。小学生を同伴される場合は、氏名・学年も記入してください。

・ 申込み期限

2月29日(月) まで

申込み多数の場合は先着順とします。

杉本佳奈ちゃん

(11 月)

(木津区)

見かけは男の子のようですが……
明るく素直で、優しい女の子に育って欲しいと思います。

(母 史津枝さん)



みすゞ詩集

花津浦

(仙崎八景から)

浦

濱で花津浦眺めて、

「むかし、むかし」と

さきました。

濱で花津浦みる度に、

こころさみしく

おもひ出す。

「むかし、むかし」と

花津浦の

その名の所縁さかされた

郵便局の小父さんは、

どこでどうしてゐるのやら。

あのはなづらの

はな越えて、

お船はとほく

消えました。

いまも、入日に海は燃え、
いまもお船は沖をゆく。

「むかし、むかし」よ

花津浦よ、

みんなむかしになりました。

「JULA出版局

みすゞ全集から」

ながと歴史散歩

第 9 回

長州版・ミニ「青の洞門」

鬼右衛門の岩穴

「ことしもまた、箱樋は、気遣いじみた発想であつた。」

(はこどい)の修理か。

安永(一七七二)

のむかし、上井手(う

わいで)の水路から田

に水をひく、東深川の

里人には、以前からの

悩みのたねがあつた。

上井手用水路は、深川湯

本殿台を流れる、深川の

本流に堰(いせき)を設け、

東深川南部の水田に用水を

導く約一キロの水路。途中、

山すその大岩が水路をはば

み、水を通せないところが

あつた。そこだけは、大岩

の周りに箱樋を掛けて、水

をつないだ。この箱樋の管

理に、里人は手をやいた。

「この岩さえなければ」だ

れもそう思った。

「この岩に穴を

抜こう」口をき

ったのは、江良

に住む、七十歳

を超えた、国近

久助(きゆうすけ)翁である。

機械力のない当

時のこと、それ



上井手用水路と岩穴

表紙の説明

仙崎南町区の永安商店の作業場で、ふく提灯作りが行われていました。背中を少し切り開いて、ここから内臓や身を取り出し、皮だけにしたふくが材料です。

この皮だけのふくに、背中からもみ殻を詰めて、あの独特の形に仕上げます。

このあと、腹一杯もみ殻を詰めたふくを、寒風の中で10日間乾燥させもみ殻を除き、冠を取付けて提灯が完成します。

この提灯は、春のシーズンには、お土産品としてデビューします。

市の人口(2月1日現在)

面積	152.29km ²
人口	27,396人(-9)
男	12,860人(-7)
女	14,536人(-2)
世帯数	8,579世帯(+1)
	() は前月比

今月の納期

固定資産税 第4期

納期 2月29日